

IT経営で企業力を高める

Kimassi

KANAZAWA

Vol.103
November

KANAZAWA TOIYA CENTER QUARTERLY NEWS 2008年11月 金沢問屋センターニュース
URL <http://www.kimassi.or.jp/>

商団連事務局長会議を21年ぶりに金沢で開催
商団連中部ブロック会議も金沢で開催
IT化推進セミナー第1回を開催
バトンエッセー
第5期「金沢商人塾」例会報告
金沢市産業功労賞受賞
金沢市経済活動賞受賞
第34回商社対抗ソフトボール大会開催
第4回キマシカップオープンゴルフ開催
うちのキラリンさん
事務局だより



事務局だより INFORMATION

8月

●1日、4～6日

生活習慣病予防健診
[一般健診] 37社 298名受診

●4日 理事会

1. 総務委員会より
 - (1) 第1四半期の決算報告について
 - (2) 組合員の加入と脱退について
 - (3) 倉庫の修繕について
2. 厚生委員会より
 - (1) 第3回キマシカップ・ボウリングについて
 - (2) 第34回商社対抗ソフトボール大会について
3. 組合運営委員会より
 - (1) 金沢流通会館の修繕及び設備投資について
 - (2) 防犯灯の修繕について
 - (3) 金沢流通会館の分煙化について

10月

- (1) 町内一斉清掃について
- (2) 金沢流通会館の修繕について
4. 事業戦略委員会より
 - (1) IT化推進セミナーの開催について
 - (2) 「IT経営応援隊フォーラム・北陸」開催の案内
 - (3) 「IT経営応援隊 経営者研修会(4日間コース)」開催の案内
5. 事務局より
 - (1) 小川基次郎理事の理事退任について
 - (2) 第1回石川県新人学童野球選手権大会の開催と当組合の支援について
 - (3) 金沢商工会議所主催の「かなざわ商談会」について
 - (4) 金沢市の「花いっぱい運動」への参加について
 - (5) 金沢ブランド優秀新製品について
 - (6) 地下水の利用について

10月

- 3日 理事会
1. 総務委員会より
 - (1) 組合員の脱退について
2. 厚生委員会より
 - (1) 第34回商社対抗ソフトボール大会について
 - (2) 第4回キマシカップ・オープンゴルフについて
3. 組合運営委員会より
 - (1) 不燃物有料回収について
 - (2) 金沢流通会館の修繕及び設備投資について
4. 事業戦略委員会より
 - (1) IT化推進セミナーの開催結果について
 - (2) 北陸鉄道バス車内放送について

5. 問屋町交通安全対策協議会より
 - (1) 問屋町内駐車状況について
6. 青年部会より
 - (1) 海外視察研修について
7. 事務局より
 - (1) 「金沢商人塾」第2回例会の結果報告
 - (2) 商団連事務局長会議について
 - (3) 当組合への視察研修について
 - (4) 商団連中部ブロック会議の開催について
 - (5) 問屋神社の塗装工事について
- 8日 町内一斉清掃



編集後記

米金融危機に端を発した世界経済の混乱が私たちにも先行き不安感を与えていますが、景気が世界的に不況に入ったということです。しかし世界的にはまだ人口増にあり、富の総量は増えていかざるを得ないため、まだまだ企業の生み出す富は増えていかなければなりません。

不況下で企業も厳しい選別と鍛えの中、長距離ランナーの発想で進むことも大切だと思います。即ち間接的努力の継続、例えば問屋センター主催の商人塾の人材教育もその一つであり、絶えず新しいものを考え出し、それを実現出来る人の養成でもあると思います。また企業にとり必勝の条件の中には、先見性即ち飯の種を探す、それは現在の中に既に発芽していると思います。そして勇気、チャレンジする精神も大切であり、恐れていることに挑戦することが、逆に恐れを克服することになるのではないかと。

問屋センター理念のもと、未来は明るい信じ、サムエル・ウルマンの詩の一節を紹介し編集後記とします。(S.N)

青春とは人生のある時期ではなく心の持ち方を言う。
青春とは臆病さを退ける勇気、やすきに付く気持ちを振り捨てる冒険心を意味する。
時には20歳の青年よりも60歳の人に青春がある。
歳を重ねただけで人は老いない、理想を失うとき初めて老いる。

9月

●3日 理事会

1. 総務委員会より
 - (1) 問屋神社秋季例祭について
 - (2) 商工中金の民営化に伴い出資金を株式に転換することについて
 - (3) 運転資金特別融資について
2. 厚生委員会より
 - (1) 第34回商社対抗ソフトボール大会について
 - (2) 第4回キマシカップ・オープンゴルフについて
3. 組合運営委員会より

商団連事務局長会議を 21年ぶりに金沢で開催



会議の冒頭、全国から集まった参加者に富木理事長が歓迎の挨拶を行った。

情報を共有し組合の
活性化・発展に活かす

9月18日(木)、全国卸商業団体協同組合連合会の事務局長会議が、ホテル日航金沢で開催された。前回の昭和62年以来、金沢では21年ぶりの開催となった。

会議には、全国の卸団地から67名が参加し、冒頭に当組合の富木理事長から「それぞれの地域で取り組んでいる組合活性化のためのさまざまな施策を、ぜひとも積極的にご披露いただき、参考にさせていただきます。また、本日の会議が会員相互の活発な情報交換の場となり、発展さ

れることを期待します」という、地元としての歓迎の挨拶があった。会議は9時からスタートし、最初に中小企業庁・中小企業基盤整備機構・商工中金などから取り組み内容の説明があり、続いて当組合を含む4団地から事例発表が行われた。

事例発表

- 協同組合八戸総合卸センター
「環境マネージメントについて」
- 新潟リッセル協同組合
「組合COO等について」
- 協同組合金沢問屋センター
「ビジネスマッチング事業について」
- 協同組合仙台卸商センター
「仙台市特区について(仙台市の新しい助成制度)」



午後からは3つの分科会が行われ、熱心な討論が続いた。



伊藤副理事長の挨拶で懇親会がスタートした。

10/23(木)

商団連中部ブロック 会議も金沢で開催

卸団地の抱える課題について意見交換

10月23日(木)、全国卸商業団体協同組合連合会中部ブロック会議が、湯涌温泉「湯の出旅館」で開催された。

商団連中部ブロック会議は、中部地区10の卸団地の理事長並びに役員が集まり、卸団地の現状と課題について話し合うもので、今回は5団地9名の役員と商団連事務局、中部経済産業局、中小企業基盤整備機構・商工中金本支店の18名で会議が開催された。

会議の席上で表明された他の団地の課題として「空き店舗問題」「共同店舗の老朽化問題」が多く出されていた。当組合からは、現在進めている「組合の将来ビジョン」の内容説明と、取り組んでいる事業として「金沢商人塾



問舗など、共通の抱える課題の多い。店舗の抱える課題も、空き店舗の老朽化など、各課題のものも多かった。

午後からは、「課題解決について」「組合の合財政基盤強化について」「組合の将来ビジョンについて」の3つのテーマで分科会が開催され、午後5時まで熱心な討論が行われた。午後6時から懇親会があり、当組合から正副理事長全員が出席。伊藤

副理事長の開宴挨拶に始まり、来賓として高本隆石川県商工労働部長、森源一金沢市副市長、五嶋耕太郎石川県中央会会長、角間俊夫金沢商工会議所副会頭から歓迎の挨拶があり、盛会のうちに幕を閉じた。

9/24(水)

IT化推進セミナー 第1回を開催

「企業力を高めるIT化」をテーマに講演

金沢流通会館研修室で、第1回IT化推進セミナーが開催され、ITコーディネーターの三宅氏を講師に「企業力を高めるIT化」と題した講演が行われた。



「ITを語る前に、自社の経営課題を論じよ」と三宅氏。

サルディングを依頼され、IT化を推し進め、販売管理システムを開発した。この会社での事例を解説しながら、まず経営者が会社の抱える経営課題をはっきりさせ、その原因を突き止めていくことが企業の発展には不可欠であると述べた。社員一人ひとりに、「自分の担当する業務にとって、現状のやり方が一番良い方法なのか」を聞くことで会社の改善可能な点を探り出したという。

IT経営とは、「単なる効率化の道具ではなく、新しい経営戦略を実現し、企業成長を支えるもの」として、「ITを活用すること」であり、その結果、生産性の向上、競争力の強化、継続的な成長の確保等を導きださないと意味がないと強調した。そのうえで、基幹業務システムは社内の「見える化」を実現するためのインフラであり、「見える化」とは「人+物+金+情報+顧客」の現状を透明化するとともに、共有化することであると説明した。

最後に改めて、戦略とは選択をするところであると述べ、財務関係、顧客管理などまず自社の改善可能な点を洗い出し、どこに重点を置くか見極めることが重要であり、「ITを語る前に、まずは自社の経営課題を論じよ」と主張して講演は終了した。

当組合では今年度、「IT化の推進」を重点事項の一つとして掲げており、第1回目のIT化推進セミナーを9月24日(水)午後1時30分より金沢流通会館 研修室において開催した。講師には(株)エムテックの三宅順之氏をお迎えし、単なる効率化ではなく、経営に効果のあるIT化を行い、企業力を向上させようという内容で講演をいただき、19社25名が熱心に話を聞いた。

講演の中でIT活用の事例として、岐阜県にある文具卸売業の会社での事例が挙げられた。三宅氏はこの会社からコン

バートン・ホセー Vol.5

「余命1ヶ月の花嫁」長島千恵さんからのメッセージ



(有)ネーミングこしの取締役社長 越野 勉

先日、乳がんと闘い、24歳で亡くなった長島千恵さんの恋人、赤須太郎さんの講演を拝聴してきました。久々の感動で、気がつくと思いましたが、「余命1ヶ月の花嫁」と思いますが、「余命1ヶ月の花嫁」をTBS「アブニング・ファイブ」が報道し、全国に大反響の風を巻き起こしたドキュメンタリーの主人公長島千恵さんの恋人、赤須太郎さんです。テレビでは伝え切れなかった、赤須太郎さんの想いなど直接お聞きすることができました。そして人のやさしさ、強さ、弱さを改めて考えさせられました。

「余命1ヶ月の花嫁」は、早稲千恵さんのmiiにアクセスしてみました。そこには私が忘れていた言葉がたくさんありました。最後まで人を愛し、人に愛され、人を支え、人に支えられた24年の人生を生き抜いた長島千恵さんからのmiiに綴られたラスト・メッセージです。

「みなさんに明日が来ることは奇跡です。それを知っているだけで日常は幸せなことだらけであふれています」
「生きてるのって奇跡だよ。いろんな人に支えられて生きてるんだよね。私これで元気になれたらすごい人間になれると思う」
「こんな都会の空気でも、風って気持ちいいの。知ってる？」
「miiをされている方はぜひ訪問してみてください。」

最近、将来の明るい兆しがなかなか見出せません。今までの人生が良かったのか？しかし、生きたくても生きられない人も数多くいる。限りある人生を有意義に生きることを改めて考えさせられた体験でした。

第2回 童門冬二氏『歴史に学ぶリーダーの条件』



【日時】9月6日(土)
【場所】金沢流通会館

「信長・秀吉・家康の研究」などの著書で知られる童門氏を招きご講演いただいた。現代は一般大衆が同じ方向を向いていた

第5期「金沢商人塾」例会報告

毎年恒例となった宿泊としての講義には、第一期から毎年講師をお願いしている大塚氏をお迎えした。
自身が経営を始めたカクテルパブ「パイプのけむり」の話や、604社の企業のコンサルタントをして再建した例を交えなが



【日時】10月18日(土)、19日(日)
【場所】石川県青少年総合研修センター

第3回 大塚徹氏『企業繁栄の為のリーダーのあり方』

時代ではなくなり、モノを選ぶものさしが個人で異なる大衆分化の時代となった。そのような時代では企業は、選ばれるような商品・サービスを、生み出さなければいけないとしたうえで、〇〇(商品・サービス)なら△△(会社名)「さらに言うとその会社の「らしさ」が必要であり、それを作り出すのはリーダーだと述べた。武田信玄と上杉謙信の争いを例に挙げ、両軍の組織ともその末端に至るまで、大將のためなら」という意識が徹底していたため戦いが長引いたと解説した。

また日銀の元総裁の福井氏が、助けたくなる会社」として①経営改革を常に続けること②カルチャーの要素を持つこと

ら、リーダーシップの基本、コミュニケーション能力の高め方、活力ある個別・集団指導法、部下の悩みを解決できるリーダーになる方法などを2日間にわたって学んだ。大塚氏はリーダーの柱6大条件として、

- ①強烈な目的意識 ②計画性 ③先頭に立つ
- ④いかなる場合もプラス思考 ⑤部下に模範を示すことができる ⑥部下はもとより上司やお客様からも信頼されることを挙げた。5%、10%売上向上といったこの会社でも持つような目標でなく、50%の売上アップというくらい目標を掲げることがリーダーには肝心であり、今までのやり方に固執せず、何か新しいことを常に考えていかなければいけないと述べた。その際に、「熟練した者ほど、できないことを知っている」というフォードの社長の言葉を挙げ、熟練者が否定的な考え方となりやすいことを注意点として挙げた。

また強い企業となるには、①思想の統一

④お客様を自分の才覚でやること ⑤従業員が生きがい・喜びを感じること ⑥日本式の経営を復活してくれること ⑦5つを挙げたことに触れ、特に⑥について、外国で言われるような株主のための利益追求というよりは、日本式の「うちの会社」という発想に立ち、会社という1艘の舟に乗りお客様のために頑張ることが大切だと述べた。武田信玄は「人は城、人は石垣、人は堀」という言葉を残しており、甲斐川に「賈しい国」にありながら、今で言う「小さな本社、大きな支店」の体制、「平社員」係長・課長・部長・社長」という組織作りによって「分権と責任」を確立することで国をまとめ繁栄させたと言い、人づくりの重要性を説いた。

今後のスケジュール

- 第4回 11月22日(土)
講師/易经研究家 竹村亜季子氏
「中国の古典『易经』に学ぶリーダーの条件」
- 第5回 12月20日(土)
講師/松下幸之助商学院元学院長 北山顕一氏
「商いの心の原点を探る」
- 第6回 平成21年2月14日(土)
講師/変革クリエイター 吉川隆久氏
「変革の時代のリーダーは どうあるべきか」

第34回

商社対抗ソフトボール大会開催

第34回商社対抗ソフトボール大会は9月15日(月)に、13社14チームが参加して金沢市営専光寺ソフトボール場で行われた。決勝戦では、(株)丸菱が富木医療器(株)Aを17対8で下し、3年ぶり8回目の優勝を果たした。



3年ぶり8回目の優勝を果たした丸菱チーム。

【結果】

- 優勝 (株)丸菱
- 準優勝 富木医療器(株) A
- 第3位 (株)キヨー・エイ
- 第3位 富木医療器(株) B
- 最高殊勲選手賞 金谷 規正 (株)丸菱
- 打撃賞 津田 憲一 (株)丸菱
- 敢闘賞 西村 五月 富木医療器(株) A

第4回

キマツシカップオープンゴルフ開催

第4回キマツシカップオープンゴルフが9月23日(火)に、22社15組60名が参加し、ゴルフ倶楽部金沢リンクスにおいて行われた。競技はダブルペリアア方式で行い、参加者は各々腕を競い合った。



優勝カップは川原要一氏の手に。



【結果】

		OUT	IN	グロス	ハンディ	ネット
優勝	川原 要一 小川商事(株)	45	39	84	14.4	69.6
準優勝	谷 和幸 カナカン(株)	52	52	104	32.4	71.6
第3位	宮田 利朗 (株)アイネックス	51	45	96	24.0	72.0

責任と感動



(株)五井建築設計研究所
松尾 信一郎さん

8年前の入社以来、設計監理を担当してきました。公共施設などの仕事が多い中で、私が特に好きなのが住宅設計。住宅のように施主の顔がはっきり見えた方が「この人のために…」と頑張れるんです。自分が担当した建物には責任が一生ついてまわりますし、現場の緊張感も大きいので、それだけに建物が完成したときは感動します。竣工後は、現場を手放してしまう寂しさもありますが、この建物に携われて良かったと思っています。

私の今のぜいたくは、1か月に1回岩盤浴に入ること。汗を流してふ〜っとリラックスしている時間が性にあってみたいですね。

うちのキマツシカップさん
元気な社員の方をご紹介します

「ものづくりの営業力」を強みに



(株)アイネックス
新出 久盛さん

入社して30年、名古屋や関西の百貨店を中心にネクタイの営業企画を担当し、ショールームのある東京と金沢を往来している毎日です。わが社の強みは「ものづくりの営業力」。アイネックスブランドでなく、お客様のPBブランド生産のお手伝いをする事です。当社では年に数回イタリアに行きますが、これは勉強というよりも完全なビジネス。ファッションの輸出大国イタリアと強い関係を結び最新のトレンドを提案できることは我々の強みです。統合の進む百貨店業界などマーケットの変化の渦中で仕事をする事は刺激的ですし、その中で会社を大きく発展させていきたいと思ひます。

金沢市産業功労賞受賞



(株)キヨー・エイ
会長 高桑 健治氏

永年にわたり、電気機器、電気設備機器などの卸売販売業に携わり、県電設資材卸業(協)の初代理事長として組合発足に尽力した。省電力商品やオール電化機器の普及促進活動を通じて快適空間の創造に努めるなど電機業界の発展及び育成に寄与し、また当組合の理事・副理事長、金沢商工会議所常議員など様々な要職を歴任し、地域経済の振興発展に貢献してきた。

金沢市経済活動賞受賞



小川商事(株)
社長 小川 榮一氏
(当組合 副理事長)

婦人アパレルの卸専門商社として、地元素材、地元デザイナーによる金沢メイドの新ブランドを立ち上げるなど、地元ファッションビジネスに貢献し、(社)いしかわファッション協会会長として、若手デザイナーの発掘・育成に意欲的に取り組み、服飾文化発展に尽力した。現在、当組合 副理事長として組合の発展に寄与するほか、金沢商工会議所議員、北陸婦人服振興会会長などの要職を務め、地域社会の振興に大きく貢献している。